



院長
伊藤 真理子
プロフィール

●(いとう・まりこ)1986年山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。

真理子先生の
女性のミカタ

アフターピル(緊急避妊)

アフターピル(緊急避妊)については2010年6月のやまコミ90号でも取上げましたが、まだご存知ない方もいらっしゃるようですので改めてご紹介しましょう。

望まない妊娠を避ける

避妊とは「望まない妊娠を避ける」という意味ですが、「避妊具を使わなかった」「外れた」「破れていた」、または「レイプされた」などの理由で妊娠が心配される場合があります。

「月経中の性交渉なら大丈夫」と油断するのも禁物。卵子の寿命は1〜2日ですが、排卵はデリ

ケートで早くなったり遅くなったり変わりがち。また通常2〜3日が寿命とされる精子が10日生きるとも場合があります。

新しい薬剤も登場

アフターピルは性交渉後に避妊出来る唯一かつ最終的な手段です。以前にご紹介したのはプラノバルという薬剤を使つて2回に分けて服用する「ヤツペ法」でしたが、3年前から新しい薬剤も登場しています。

それはノルレボという緊急避妊専用の薬剤で、性交渉後72時間以内に服用というのは同じですが、服用は1回だけ。安

全性も十分確認されています。お値段は1万5000円前後とプラノバルに比べ高額ですが、妊娠阻止率は向上します。

排卵を遅らせる働き

薬の働きは、精子の動きを抑制して排卵日前ならなるべく排卵を遅らせるよう作用します。卵管や子宮内膜の状態も変え、受精や着床しにくくして妊娠を防ぎます。

妊娠検査も忘れずに

使用後、月経予定日に出血があっても必ず妊娠検査をして下さい。出血イコール月経ではありません。

せん。「月経は終わったばかり」「妊娠は絶対してない」と断言する方がいらつしやいますが、実際には妊娠しているケースは数知れません。



大丈夫とは思うけど...



自分にあつた避妊を

望まない妊娠は女性の心と身体に大きな負担をかけるばかりです。アフターピル、知っているだけで心強いですね。その後、ご自分のライフスタイルに合った避妊方法を考えるきっかけにもなることでしょう。